

チョー・オユー(8201m)登頂4 1日間

2012年8月30日(木)カトマンズ入り ～ 10月9日(火)カトマンズ発



Cho-Oyu 概説

中国ネパール国境に聳える 8000m 峰で、エベレストを間近に望むチョー・オユー峰(8201m)。8000m 峰の中では最も登りやすい山として人気を集めています。技術的にも特にむずかしい箇所はなく、エベレストアイスフォールのような危険な場所もありません。

ルート概説

実質的なベースキャンプとなる ABC 5800m(アドバンストベースキャンプ)、C1(6600m)、C2(7100m)、C3(7400m)
ABC～C1：氷河からガレた斜面をたどり、雪の尾根に出ます。C1～C2：広大な雪稜をたどります。やがて短い懸垂氷河が現れます。フィックスロープに助けられさらに急斜面を進むと広大な雪原の C2 です。C2～C3：標高差 400m の雪の斜面を登ると 3-4 時間で最終キャンプの C3 に到着です。C3～頂上：C3 から頂上までの所要時間は 5-7 時間。登頂日は C2 まで下ります。ルートは C3 を出てすぐに急峻なロックバンドを越え、雪の斜面をたどります。頂上手前で傾斜は落ち、広大なプラトーをたどり、エベレストが見えたらそこが山頂です。

難易度: ピッケルアイゼンを使った冬山経験が必要です。ユマーリング、懸垂加工技術も要求されます。数箇所の急峻または垂直の懸垂氷河を登る箇所があります。

チョー・オユー登頂日程表

	日 時	スケジュール
1	8月30日(木)	日本出発→トマンズ(1400m)着 利用航空機により前日日本出発となります。カトマンズ到着後、ホテルに移動。 ＜ホテル泊＞
2	8月31日(金)	カトマンズ滞在 カトマンズにて休養。チベットビザの取得、装備の点検など ＜ホテル泊＞
3	9月1日(土)	カトマンズ滞在 カトマンズにて休養。荷物の整理と打ち合わせ。 ＜ホテル泊＞
4	9月2日(日)	カトマンズ(1400m)→コダリ(1750m)→ザンムー(2330m) 専用車にてネパール中国国境の町コダリへ。国境を越え、中国側の街ザンムーへ。 ＜ホテル泊＞
5	9月3日(月)	ザンムー(2800m)→ニヤラム(3750m) 中国、ネパール友好道路をニヤラムへ。断崖の道をたどります。秋のシーズンはとろどころ崖崩れがあり、車を何回か乗り換えることがあります。＜ホテル泊＞
6	9月4日(火)	ニヤラム(3750m)滞在 近くの丘で高度順応します。 ＜ホテル泊＞
7	9月5日(水)	ニヤラム(3750m)滞在 5000m付近まで高度順応に出かけます。 ＜ホテル泊＞
8	9月6日(木)	ニヤラム(3750m)→ティンリ(4200m) 荒涼としたチベット高原を進みます。途中でシシャパンマへの道とわかれ、標高4200mのティンリへ。 ＜ロッジ泊＞
9	9月7日(金)	ティンリ(4200m) 高度順応のための滞在。近くの丘に登頂します。 ＜ロッジ泊＞
10	9月8日(土)	ティンリ(4200m)→チョー・オユーBC(4900m) 専用車にてBCに移動します。 ＜テント泊＞
11	9月9日(日)	チョー・オユーBC(4900m) 付近の丘に登り高度順応 ＜テント泊＞

12	9月10日(月)	チョー・オユーBC(4900m) → チョー・オユーABC(5800m) トラックまたは専用車にて中間キャンプ(5200m)へ。これより徒歩で実質的なベースキャンプである標高5800mのABCへ。 ＜テント泊＞
13 ～ 36	9月11日(火) ～ 10月4日(木)	24日間の登山期間 C1=6600m, C2=7100m, C3=7400mを設営します。酸素は通常3本使用します。 ＜テント泊＞
37	10月5日(金)	ABC(5700m) → BC(4900m) BCへ下山。 ＜テント泊＞
38	10月6日(土)	BC(4900m) → ザンムー(2800m) 専用車にて一気にザンムーまで戻ります。 ＜ホテル泊＞
39	10月7日(日)	ザンムー(2800m) → コダリ → カトマンズ 国境を越えネパールに再入国。カトマンズに戻ります。 ＜ホテル泊＞
40	10月8日(月)	カトマンズ滞在 予備日 ＜ホテル泊＞
41	10月9日(火)	カトマンズ出発 解散。隊員たちとの最後の朝食後、空港へ向かいます。それぞれの航空機で帰国の途につきます。

※上記のスケジュールは理想的な行程です。チョー・オユーのような山登りでは常に柔軟性をもってより良い行程を模索いたしますので、天候等によりスケジュールは変更されます。



『遠征参加条件』

- チョー・オユー遠征期間：2012年8月30日(木)カトマンズ入り ～ 10月9日(火)カトマンズ発
- 遠征隊参加代金：21000ドル カトマンズ出発～帰着までの費用（日本からの参加者4名以上の場合）
- 旅行取扱: Mountain Experience P.Ltd.
- 日本人ガイド：倉岡裕之 www.hiro-kuraoka.com
- 参加資格: 雪山経験者
- 必要書類: 遠征期間中有効な日本国パスポート、遠征申込書、ネパールビザ用、および登山許可用写真(4.5cm x 3.5cm 3枚)、健康診断書、海外の山岳登攀中の怪我、病気などに対応する海外旅行保険

【参加代金に含まれるもの】

- チベットビザ、登山許可
- 日程表に明記されたネパールおよび中国国内における移動、送迎費用
- ネパール人シェルパ、キッチンスタッフの給料、保険、食料などすべての経費
- 中国人リエゾンオフィサー、通訳の経費
- 高速道路、自然保護料
- 日本人ガイドの経費、ガイド料金、保険
- カトマンズ以外でのすべての食事
- フィックスロープ

【参加代金に含まれないもの】

- 日本からカトマンズまでの航空運賃
- 各地の出国税
- カトマンズでのホテル宿泊代金
- カトマンズでの食事代金
- 経由地での宿泊費等
- ネパールビザ費用
- ネパール再入国ビザ費用
- 個人装備
- 海外旅行傷害保険（山岳登攀中の事故に対応するもの） I H I など
- シェルパボーナス
- その他個人的出費

【遠征参加費以外の費用について】

- 国際線航空券 タイ航空=毎日運航 約 217000円（3ヶ月有効、帰国日変更可能）など
 - ★ その他の航空会社=エアインディア、シンガポール航空、大韓航空など（風の旅行社、古谷までお問い合わせください。電話 03-3228-1265）
- 保険 I H I 海外旅行傷害保険 <http://global.ihl.com/travel%20insurance.aspx>

【個人装備リストの一例】

-頭-

日よけ帽子
バラクラバ（目出し帽）
防寒帽子：フリースなど
サングラス：サイドシェルのついたものがおすすめ
スキーゴーグル
ヘッドランプ

-手-

ウインドストッパー手袋
スキーグローブ（5本指ウールグローブとゴアオーバー手袋の組み合わせでも可）
ダウンミトン

-足-

ライナーソックス 3組
ハイキングソックス 3組
厚手ソックス 3組
ハイキングシューズ：ジョギングシューズなど
ダウンブーツ（テントシューズ）
登山靴：高所靴（スポルティバ・オリンポスエボ、スカルパ・ファントム 8000、ミレーエベレストなど）
※その他のダブルブーツの場合はオーバーブーツやオーバーゲーターと組み合わせる

-上着-

ベースレイヤー：速乾性の化繊またはメリノウール製薄手、長袖、半袖
ミドルレイヤー：フリースジャケットなど
シェルジャケット：ゴアテックス製
ダウンジャケット：1k g程度のフードのしっかりしたもの
ダウンワンピース：モンベル、マーモット、バランドレ、ノースフェイスなど

-脚-

速乾性化繊またはメリノウールのズボン下 2枚
厚手フリースパンツ
ソフトシェルパンツ
ゴアテックスパンツ
ダウンパンツ（薄手～中厚）

-ギア-

デイパック
バックパック 40-50 リットル
ハイドレーションシステム（オプション）
ダッフルバッグ 2個
マットレス：サーマレストなど

ハーネス：ビレイループ付きのもの
カラビナ：安全環付 x2 安全環なし x2
下降器：ATC
ピッケル：軽量のものがおすすめ
アイゼン：12本爪
登高機：ペッツルアセンション、BD n フォースなど
トレッキングポール：伸縮性のストック

-その他-

パスポート（ネパールビザは空港で取得可能）
写真 4.5 x 3.5cm 数枚
ウェストポーチ
ダッフルバッグ用の鍵
レザーマン、スイスアーミーナイフ
プラスチックのボール、スプーン、マグカップ
水筒：大口のものがおすすめ。
ピーボトル：ナルゲン1リットル
バンダナ
化繊の下着
ゴミ袋（大きいもの）4枚
ジップロック
スタッフバッグ
日焼け止めクリーム
リップスティック
ファーストエイドキット
洗面用具
医薬品（常用薬）

■お申し込みお問い合わせは：hiro.kuraoka@gmail.comまでお願いします

倉岡裕之：電話 04-7169-1372（自宅）、090-3248-9862（携帯）

（6/11までエベレスト遠征中ですが、数日に一度メールチェック可能ですので何なりとお問い合わせください。）